

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素から、市政の推進に対し多大なご理解とご協力を賜っておりますこと、心より厚くお礼申し上げます。

昨年の市長選挙におきまして、市民の皆様からのご支援とご理解を賜り、美祢市の舵取り役を担わせていただくことになりました。その責任の重大さに改めて身の引き締まる思いであります。

さて、所信表明の際にも申し上げましたが、市長就任2年目におきましても「市民が主役のまちづくり」、「住みたくなる、住み続けたいまちの創造」、「教育環境の充実」、「地域経済の活性化、雇用の拡大」、「市行政改革の推進」の5つを新しい美祢市創造のための柱とし、これらを具現化するため、新年度予算編成に着手しているところであります。限られた予算の中で、既成概念にとらわれないこと、現状把握と課題を

しっかりと見極め、多岐にわたる分野の施策について、選択と集中の視点をもって計画的に必要な施策をスピード感を持って取り組んでいく所存であります。

就任初年度となる昨年、平成27年度実施の国勢調査の確定値が発表されました。ここで日本の総人口が調査開始後初めて減少に転じたことから、いよいよ本格的な人口減少時代を迎えたと危惧しているところです。本市におきましても、5年前の調査から人口が8.6%減少の26,159人となり、県内市町の中でも減少率が高い結果となりました。この人口減少問題は喫緊の課題であり、人口の流出と少子化は地域社会の活力を弱めるにとどまらず、維持そのものが困難な事態へと深刻化していく可能性があります。

そのためには、子育て世代から高齢者世代まで、幅広い世代に「住みたい・住み続けたい」と思われ選ばれるまちにしていかなくはなりません。特に、若い世代が住みやすいまちを実現するため、子育てしやすい環境づくりや教育しやすい環境づくりに取り組んでまいります。

子育てにつきましては、妊娠、出産から子育て期全般にわたる切れ目のない支援策の充実化を図り、各世代の皆様と連携して地域で子育てする環境や仕組みを作ってまいります。

教育しやすい環境づくりとしまして「教育充実都市」を掲げ、これまで以上に未来を担う子供たちの成長を支え、子どもの夢と未来が輝く可能性を最大限に伸ばせる

まちの実現に向けて取り組んでまいります。特に英語教育や国際交流、ジオ教育を中心に特色ある学校教育を実施し、学ぶ楽しさを実感してもらい、さらには学力の向上を図っていきたくと考えております。

また、選ばれるまちの実現に向けて、本市の強みでもある観光関連事業の育成は重要な施策になります。そこで日本ジオパークというブランド力を活かすとともに、山口県の強力なバックアップをいただきながら歩調を合わせ、美祢市台北観光・交流事務所を東アジアの拠点とし、関係機関と連携の上、本市の魅力国内外への情報発信をさらに強化し、観光客誘致を図ると同時に地域経済の活性化と雇用の創出を推進してまいります。この中で、昨年12月3日にオープンしたMine秋吉台ジオパークセンター「カルスター」は新たな観光拠点として、また、市民の皆様と観光客との交流の場として大いに賑わい、活性化の役割を担うものと確信しております。

社会情勢の変化とともに、地域では様々な課題が発生しているところですが、一つひとつを乗り越え美祢市の発展に向かって、市民の皆様とともに本年も全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様、そして美祢市にとりまして素晴らしい年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします

年頭のごあいさつ

美祢市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成29年の年頭に当たり、美祢市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を、お健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月に執行されました美祢市議会議員一般選挙におきまして、市民の皆様から負託を受け、16人を市議会に送り出さいただき、改めて責任の重大さを感じているところであります。

現在、本市が抱えております過疎化・少子高齢化や住民の皆様の生命・財産を守るための防災対策など、行政課題が山積しております。住民の福祉の向上、地域経済の活性化を目指し、執行部と議会の両輪により、迅速かつ着実に諸施策を推進する必要があります。

第一次美祢市総合計画が示す基本理念『市民が『夢・希望・誇り』をもって暮らす交流拠点都市美祢市』の実現に向け、Mine秋吉台ジオパーク構想を核とした諸施策を展開しているところであり、市議会といたしましても、美祢市活性化の歩みを止めることのないよう取り組みを強化してまいります。

国においては、地方創生というテーマのもと、地方の活性化を促しているところであり、地域間競争の時代に突入しております。

本市も第一次美祢市総合計画に掲げる政策・施策を承継し、かつ、人口減少対策に効果・実効性のある取り組みを戦略的に進める計画である平成27年度策定の「美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一部見直しを行い、社会情勢等の変化を加味した、より実効性の高い戦略とし、本市の特性を活かした定住人口の拡大や雇用の創出などを推進することとしております。

今後、本市がより一層発展していくためには、市民・事業者・行政が共に考え、共に生きていこうとする動きが非常に大切になってまいります。市議会も、本市発展に向け皆さまと共に一步一步確実に進んでまいり所存であります。

また、議会改革におきましても、議会基本条例に基づき、議会報告会の開催や政策討論会などを通じて、市民に開かれ自由闊達な議論ができるようにしてきたところですが、さらなる活性化に向け議論を深めてまいります。

市議会は、第一に住民を代表する公選の議員をもって構成され、本市の具体的政策を最終的に決定し、また意見書・要望決議や、議員立法で条例を制定することで直接的に政策形成を行うことです。



美祢市議会議長
荒山 光広

第二として、議会の決定したことを執行部が執る行財政運営、事務処理や事業の実施が適法・適正に、しかも公平・公正、効率的になされているかどうかを、住民の立場に立って監視することです。

議会は、諸問題を迅速に解決し、市民の皆様が安全で安心にお暮らしいただきながら、活力と潤いに満ちたまちづくりを推し進めるための議会となるべく、執行部との両輪で諸政策をスピード感をもって実行してまいります。

結びにあたり、議会活動に対しましてより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を、議員一同心よりご祈念申し上げます。年頭に当たってのごあいさつといたします。

